

ひまわりからの メッセージ

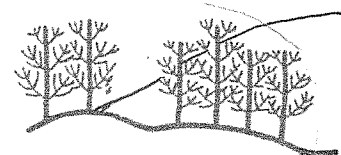
110号

2020.10.12.

NPO ひまわりの花内
西濃圏域
発達障がい支援センター

発行人：中野たみ子

お月さま



十月一日は仲秋の名月でした。

皆さんはご覧になりましたか。

私が見た時は、月はすでにかなり高く上っていて小さく見えましたが、それでも月の光はあたたかくやさしく地上を照らしていました。

月を見上げながら、かぐや姫の話を思い出しました。人間が月まで行けるようになって、かぐや姫の話を夢中になる幼な子はもういないのかもしれませんが、おじいさんやおばあさんと別れて月に帰っていくかぐや姫の別れの場面はいつまでも私の心に残っているのです。そして、月を見上げるといつも二度と会うことのできない子ども達や友人、知人、両親のことを思い出します。皆さんは、どんな思いで月をご覧になりますか。

翌日の新聞に、満月を背に岐阜城がくっきりと写った写真が掲

載されました。板屋川沿いの土手で撮影されたものだと思います。そして、九日の新聞には藤橋城とおぼろ月の写真がのっていました。城と月という構図は何故か郷愁をさそうものだと思います。

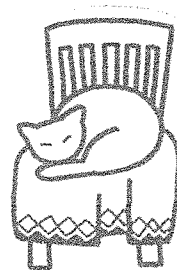
数日後のことです。宮代小学校に伺った折、校長室に岐阜城と月の写真がラミネートして飾ってありました。「新聞の写真と同じですね。素敵ですね」と言う私に「どうぞ」と校長先生がプレゼントして下さいました。「新聞の写真もどうしてこんな風に見えるのですか」とたずねる私に説明して下さるのですが、機械に弱い私に十分に理解できるはずはありませんでした。でも、その写真を見てみると、姿は見えないけれども遠い月の世界に私の大好きな人達はきついているのだと思えて、いただいたことがとても嬉しく、早速玄関に飾りました。そして、ゆっくりと月をながめる心の余裕がもてたことを喜びとしました。

萩が咲き、秋海棠が咲きはじめ、杜鵑草もつぼみをふくらませ、あと二日もすれば咲きはじめるでしょう。

月日は否応無しに過ぎていきます。最近は何故か秋が短くて、素早く通りすぎていく様な気がします。忙しい日々の中でも立ち止まる時間を見い出さなければ……と思ったことでした。

目で目えること

WAVESについて



「皆さんの目は、よく見えますか？」と質問されたとしたらそれは、おそらく視力のことですよね？でも、私たちの目の働きは視力だけではありません。

先日、ある学校で読み書きのことを話していて、一年前にも触れたことのあるWAVES（ウェーブス）という検査についてもう一度書いておかないといけないかなあと感じ、今回取り上げました。子どもたちの学習の困りの中に目の機能の問題があることもあるからです。

でも、先に目の働きにどんなものがあるのか、ちょっと考えてみましょう。

・注視……物をじっと見る、見つめる力。

・追視……動くものを追って見たり、教科書の文字をずら

と目で追っていく力

・距離をはかったり、深さや高さを測ったり、位置関係

をはかる力

・スピードについていく力

・様々な背景から必要な物を選び出す力（図と地の関

係といえます）

・目と手の協調（作業をするのに必要）

・明るさや暗さに順応する力

・見比べる力 ・形をおぼえる力

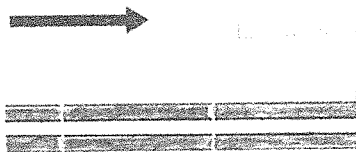
・色を認識する力（色覚）

考えてみるとたくさんあります。もちろんポイント合わせも必要です。私は緑内障が少しおつ進行しているので、だんだん見えにくくなっていますが、視神経の太さや長さも見え方には関係しているようなのです。

では、子どもたちの目は、どうなのでしょう。その目の働き（視機能）を調べるのがWAVESという検査です。この検査は、学校の先生方でも実施できますから、心理士に頼まなくても学校でやってみて下さると思います。

内容はAからFに分かれています。
① Aは線なぞりと形なぞりです。

左 → 右へ



線なぞりは黒い線と黒い線の間にある白い線の上をなぞります。鉛筆はすつと途切れないように！



形なぞりは線からはみ出さないように最後をしっかりと閉じるように書く。

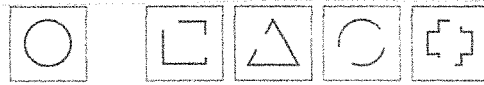
<形あわせ>



<形さがし>



<形づくり>



<形みきわめ>



この課題は、どれも左にある図の形と同じ形をさがすものです。

③

Cは形あわせ、形さがし、形づくり、形みきわめです。

②

Bは数字見比べです。

①	111	111	おなじ	1つちがう	2つちがう
②	277	777	おなじ	1つちがう	2つちがう
③	346	956	おなじ	1つちがう	2つちがう

左右に並んでいる数字を見比べて、同じか、1つちがうか、2つちがうかを記入します。

数字見比べには2通りあって上のように、数字が並んでいるものと下のように空間のあるものがあります。

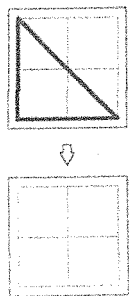
7	5	3	3	4		7	5	3	3	4
8	7	6	9	6		6	7	5	9	6

④ Fは補助検査です。
この検査は、大きさの同じもの、長さの同じもの、位置が同じもの、傾きが同じものを探し出す検査です。大きさや長さの比較は割合簡単ですが、位置関係や傾きの比較は大人も難しいなあと思います。私は残念ながらいくつもの誤りがありました。

⑤ Eは形うつしです。

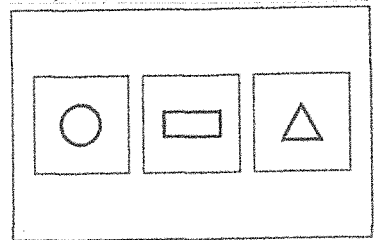


上に書いてある通りに下にうつしてっていく課題です。

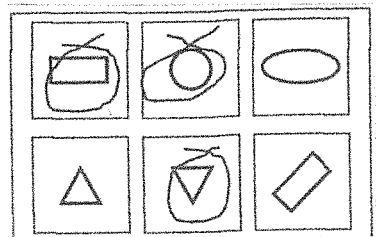


④ Dは形おぼえです。

まず、最初のページの形をおぼえます。



次のページに書いてある形の中から、前のページの形と同じ形を選びます。



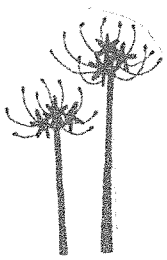
1つまちがっていますね。

WAVESの検査の適応年齢は小学校一年生から六年生とされています。学習のつまづきが見られる場合、もしかしたら見え方が関係しているのではないかと考えてみることもが大事だと思われれます。

限局性学習症(トロ)のお子さんの中には、見え方の困りがあり、学習が進まず、自信を無くし、その結果様々な行動をひきおこして、よけいに自暴自棄になってしまうということもあると思われれます。読み書きにつまづいているお子さんには、一度調べてあげることをご考えてみましょう。

WAVESの様々な下位検査の対象とするスキル、目的内容としては、目と手の協応、視覚的注意と眼球運動、弁別速度、図と地の関係で見つけ出す速度、視知覚の分析、視覚性の記憶、図形構成などがあげられます。そしてこの結果分析からビジョントレーニングに進みます。ビジョントレーニング用のドリルなども作られていますから、それらを参考に、して自作教材も考えられると思います。

もちろんWAVESで目の働きの全てが分かるわけではありません。しかし少しでも困っている子どもたちの助けになるように皆で知っておきたいものです。

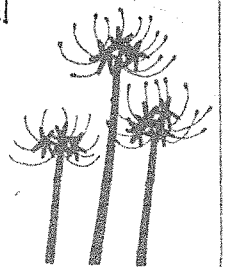


検査者として思うこと

どこの市町でも、来年度の教育支援に関して「教育支援委員会」が開かれています。保護者の方との合意形成を目ざして話し合いを積み重ねてこられたのでしょう。保護者の方も様々な思いを抱きつつ、この時期を過ごしているしやることと思えます。私も検査をさせていたが、なごり、その子にとっての、就学先を共に考えています。

ただ、私はちょっと不安になることがあります。それは、来年度のことはもちろん大事なことです。今から六ヶ月の間をどのように過ごすのか、その辺のことが大丈夫かなあと心配になるのです。検査をして、個人内差の大きいお子さんに、具体的なかわり方のお話をして、全IQの数値ばかりが重要視されて、検査があたかも教育支援委員会に提出するためだけのものになっていないでしょうか。

子どもたちの療育や教育の中で生かされてはじめて検査の意義があるのだと私は思うのですが……？



お知らせ

センター親の会 11/9 12/14

いずれもスイトピアセンター5F創作学習室③